平成３０年度大学コンソーシアム沖縄 運営委員会（第４回）議事概要

○日　時：平成３０年１２月１９日（水）１４：００～１５：０５
○場　所：琉球大学　地域国際学習センター　３階　３０４学習相談室
○出席者：新田　早苗 事務局長（琉球大学総合企画戦略部長）、金城　徹 委員（琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課長、中田　竜次 委員（沖縄キリスト教学院大学・短期大学総務課長）、上原　将司 代理（沖縄大学総務課主幹）、島袋　常義 委員（沖縄女子短期大学事務局次長）、比嘉　美昭 委員（沖縄国際大学事務局総務課長）（途中退席）、渡久地寛 委員（沖縄県立芸術大学総務課長）、荻堂　盛淳 委員（名桜大学総務課長）、田中　克代 委員（沖縄県立看護大学総務課長）、冨田　和宏 代理出席（沖縄工業高等専門学校事務部長）、照喜名　一 委員（沖縄科学技術大学院大学技術開発ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ R&D 担当審議役）
○陪席者：大城　光雄（琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課企画係長）

【要旨】
議題（１）今後大学コンソーシアム沖縄として実施する活動について
・事務局から資料１に基づき各大学から提出された大学コンソーシアム沖縄実施事業を１本化したマトリックス図表等について説明があった。
・事務局から資料２に基づき総会に提案する趣旨・目的・主な事業をまとめた「大学コンソーシアム沖縄　法人活動等見直し（案）について説明があった。
・荻堂委員から、資料に基づき、第５回世界ウチナーンチュ学生サミットの前年度のタイムスケジュールと実績について説明があった。
議題（２）第７回総会への提案について
・新田事務局長から、資料２に基づき、大学コンソーシアム沖縄法人活動等の見直し案について説明があった。
議題（３）大学コンソーシアム沖縄の規程整備について
・新田事務局長から、資料３に基づき、大学コンソーシアム沖縄の規程整備について説明があった。今後、規程案を更に精査し、各大学等へメールで照会することとなった。
議題（４）大学マネジメント研究会主催「ＳＤフォーラム in 沖縄」の大学コンソーシアム沖縄との共催について
・事務局から、資料４に基づき、大学マネジメント研究会から、同研究会が主催する「ＳＤフォーラム in 沖縄」の共催の依頼について説明があった。後日、メールにて、各大学等へ共催による開催の是非及び要望や意見等について照会することとなった。

各議題における各運営委員からの意見等は以下のとおり。

【各大学等から出た意見等】
・資料１の実施事業について、２月の総会の後に、直ぐに公開講座、学生交流や合同入試説明会実行委員会を３月に開催するのは、現実的なのか疑問がある。記載の仕方を検討してはどうか。（沖縄科学技術大学院大学）
・資料１の合同入試説明会については、８月・１１月の記載となっているが、１１月は特別選抜の入試があるので都合が悪く、１０月後半や１２月に変更してもらいたい。（沖縄県立看護大学）

・合同入試説明会には、県外で実施する場合は各大学が一緒に実施する方が集客につながると同時にコストを抑えることもできるかと思う。大学進学率向上のためにも県内向けも考えた方が良いかもしれない。（新田事務局長）
・資料２の提案書に、写真やポンチ絵などのビジュアルの絵が欲しい。（沖縄科学技術大学院大学）
・資料２の２枚目の「平成３０年度以降の主な実施事業」の事業の中で、知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業が記載されているが、全体としてどのように実施されているのかが見えないので、どのような事業なのかの説明文を追記してもらいたい。（沖縄県立看護大学）
・資料２の２枚目の「平成３０年度以降の主な実施事業」の前に全体に係る説明文を追記した方がよいのではないか。（名桜大学）
・資料２の２枚目「平成３０年度以降の主な実施事業」のその他事業にある、①世界ウチナーンチュ学生サミットは、その他ではなく、グローバル人材育成事業に入れた方が良いと思う。（沖縄科学技術大学院大学）
・SD 研修については、３月の運営委員会では検討できるのではないかと思うが、FD 研修については次年度以降にしか議論できないかと思う。検討委員会の中軸になる教員を集めるのは、５月以降になるのではないか。（新田事務局長）

【決定事項】
・資料１の事項「公開講座」は、前期と後期に分けて実施する。３月の運営委員会では前期はできる大学から中心に実施し、その間に後期を調整する。また「合同入試説明会」の実行委員会の時期を３月から、４月～６月の矢印の上に重ねるように移動する。
・インターンシップは、これまで沖縄科学技術大学院大学や沖縄工業高等専門学校が実施してきたものを拡大するということで実施する。受け入れの定員については、両大学で受け入れられる人数を設定することとする。
・資料２の２枚目「平成３０年度以降の主な実施事業」の前に、全体に係る説明文を追記する。また、各事業における説明文を２～３行追記する。
キャリア教育は沖縄科学技術大学院大学の世界的な教育研究施設を通して、学術研究に触れるという内容を明記する。また、単位互換は、将来を見据えて ICT を活用した提供方法による県内・国内外の大学との連携についても視野に入れるということを明記する。
・資料２の２枚目「平成３０年度以降の主な実施事業」のその他事業にある、①世界ウチナーンチュ学生サミットは、グローバル人材育成事業の②に移動する。
・資料２の２枚目「法人の運営体制」の人事交流は、「今後検討」を追記する。
・大学コンソーシアム沖縄の規程については、配付した規程案を琉球大学で更に精査し、来年１月には、各大学等へメールで照会する。
・資料４の大学マネジメント研究会からの依頼について、後日、メールにて各大学等へ共催による開催の是非及び要望や意見等について照会する。

（以上）